

平成29年 7月31日発行

静岡県

図書館協会

会報 No.69



袋井市立浅羽図書館 けいべんおはなし会

編集・発行 静岡県図書館協会

静岡市駿河区谷田53番1号
静岡県立中央図書館内

いっしょに考えませんか。図書館の未来

静岡県図書館協会副会長
浜松市立中央図書館長

鈴木 正仁



本年度、静岡県図書館協会副会長を拝命いたしました、浜松市中央図書館長の鈴木と申します。

私は、今年の4月から浜松市立中央図書館に異動してまいりました。前職は市の生涯学習課という部署にて、公民館に準じた浜松市の各施設で講座事業や文化会館等の運営の総括などを行っておりました。これらの社会教育事業で培った経験を、微力ながら図書館の事業に活かしてまいりたいと思います。

さて、浜松市では本につながる喜ばしいことが2点ありました。

一つ目は、NHKの大河ドラマで遠州地方を舞台にした「おんな城主 直虎」が放映され、この地域の戦国時代が、あらためて脚光を浴びるなか、関連の書籍が大変多く発行されるようになりました。調べたところ現在、直虎関係だけで102冊もの小説や伝記、歴史の書籍が出版されています。浜松市の図書館は分室を含めて24館ありますが、それぞれに直虎コーナーを設置し、多くの市民に、これらの本をタイムリーにご提供できるよう工夫を重ねています。

二つ目は、「浜松国際ピアノコンクール」を素材に恩田陸さんが執筆された「蜜蜂と遠雷」が2016年直木賞と2017年本屋大賞をダブル受賞されました。こ

のコンクールは3年に一度開催され、国内外から厳しい予選を勝ち抜いた新鋭のアーティストが集まり、ここ浜松で頂点を目指します。来年、平成30年度がコンクールの年となりますので、さらに注目を浴びていくものと思います。浜松市の図書館でも貸出予約のベスト1となっています。

これらの出来事をきっかけに浜松市の魅力がさらに内外に発信され、浜松を訪れる人々や、図書館を利用される方々が、ますます増えていくことを期待しております。

いうまでもなく、図書館の基本は本の貸出し等による知の情報提供にあります。その充実によりレファレンスが生まれ、さらに文化活動へと広がっていくものと考えております。

図書館の機能は多様化し、本を中心とした図書館からコミュニティづくりを支える図書館などへの変化が起き始めています。

真に市民が集い、慕われ、お役にたてる図書館とは、どういうものなのか、どんな機能が必要なのか。浜松市では、これからの図書館の未来について、講演会やワークショップを通じて、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

平成29年度 総会報告

平成29年度の静岡県図書館協会総会が、4月26日に静岡県立中央図書館で開催され、下記の議案が承認されました。

- 第1号議案 平成28年度事業報告
- 第2号議案 平成28年度決算報告・会計監査報告
- 第3号議案 平成29年度事業計画
- 第4号議案 平成29年度予算

平成29年度 静岡県図書館協会役員

理事 会長	河原崎 全 (静岡県立中央図書館)
副会長	杉山 靖 (沼津市立図書館)
副会長	鈴木 正仁 (浜松市立中央図書館)
	山田 真士 (熱海市立図書館)
	栗原 晴彦 (三島市立図書館)
	堀川 仁 (静岡市立中央図書館)
	大沼 裕幸 (函南町立図書館)
	澤田 均 (静岡大学附属図書館)
監事	山本 義孝 (袋井市立袋井図書館)
	小幡 壯 (静岡県立大学附属図書館)

※加盟館名簿順

<平成29年度事業計画>

会議・大会

- 理事会 第1回 (4/26)
- 第2回 (9月初旬・文書による決裁)
- 第3回 (2/9)

- 総会兼館長会 (4/26)
- 相互貸借担当者会議 (5/11)
- 静岡県図書館大会 (11/6)

研修・視察

- 図書館基礎研修 (4/21)
- レファレンス基礎研修 (5/18・5/26・6/2・6/8)
- 図書館運営研修 (7/14)
- 大学・専門図書館研修 (9/13)
- 図書館情報研修 (9/27)
- 図書館広報研修 (6/22)
- 児童・青少年サービス研修 (2/22)
- 図書館サービス研修 (12/13)
- レファレンス応用研修 (10/19・10/25)
- 図書館情報交換会 (10/4・11/22・12/5)

専門委員会

- 資料専門委員会 年4回開催
- 図書館大会運営委員会 年5回開催

<平成29年度予算>

収入総額並びに支出総額3,400,000円の本年度予算が承認されました。

平成29年度 静岡県図書館協会館長研修会の報告

静岡県図書館協会総会兼館長会終了後に元塩尻市立図書館長の内野安彦氏をお迎えし、「図書館経営について」と題して御講演いただきました。

内野氏は、塩尻市立図書館長を務めていた経験を踏まえ、図書館の経営方針を明確に打ち出すことが必要であること、他部署の計画についてもその中に図書館があるのなら知っておく必要があること、非常勤職員の雇い止めの不安を解消できるよう努力すること、職員が学んでいることを評価するなど、図書館長として心掛けるべきことについてわかりやすくお話してくださいました。

また、図書館がリクエスト本を大量に購入することによる出版社や書店への悪影響を考える必要がある、図書館は出版文化を守り本を届けることが仕事であり、貸出点数を争うべきではないなど、図書館の現状についての考えもお聞かせくださいました。

受講者からは「新たな視点を沢山いただきました。明日からの経営に生かします。」「マネジメントには現場の把握が重要であると再認識しました。出版文化の保守における図書館の役割も大変参考になりました。」等の感想が寄せられるなど、大変有意義な研修となりました。



内野安彦氏による講演

子ども読書活動で

袋井市立図書館と静岡おはなしの会が文部科学大臣表彰を受賞しました

文部科学省では、毎年、4月23日を「子ども読書の日」とし、記念事業として“子ども読書活動推進フォーラム”を開催しており、合わせて子どもの読書活動優秀実践団体に対する文部科学大臣表彰を行っています。平成29年度は、図書館の部で袋井市立図書館が、団体（個人）の部で静岡おはなしの会が大臣表彰を受賞しました。

子どもが本を楽しむまちをめざして～各部署と連携して～ 袋井市立図書館

袋井市立図書館では、「袋井市子ども読書活動推進計画」に基づき、市各部署及びボランティア等と連携し、将来にわたって子どもたちが自主的に読書活動を行うよう、子どもの年齢や発達段階に応じて様々な取組みを展開しています。

絵本やわらべうたを通して親子のふれあいを深めていただく「ブックスタート（7ヶ月児対象）」や「セカンドブック（2歳児対象）」は市保健センターと連携して毎月2回実施しています。また、ボランティアの方々の協力のもと、館内や園に出向いて行うおはなし会の開催、おすすめ本のリストの作成などを積極的に行っています。

また、一般市民を対象に毎年行っている「袋井市子ども読書活動推進講演会」は、本年度で14回を数え、子どもの読書活動への意識啓発の機会となっているとともに、市教育委員会と連携するこ

とで幼稚園教諭や保育士の研修の場としても機能しています。

これからも、「読書」を通じて子どもたちがたくましく成長できるよう、引き続き連携しながら、取組みを進めてまいります。

（袋井市立浅羽図書館 施設次長 小久江 暁子）



袋井市立図書館 ブックスタート

子どもたちがすてきな本と出会うお手伝いを 静岡おはなしの会

私達の会は、お話を聞いたり語ったりすることの好きな者が集まり、1977年に発足しました。現在、静岡市立中央図書館で、月5回、定期的におはなし会を開いています。

おはなし会では、ストーリーテリング・わらべ唄・絵本の読み聞かせを行っています。その他、こども園・小・中・高等学校、特別支援学校等で、依頼に応じておはなし会をしています。また、平成17年から、静岡市内の各図書館主催の読み聞かせ講座に、講師として参加しています。他に、静岡市子育て支援事業・ブックスタート・ブックステップでのお手伝いも活動の一つです。

月1回の例会では、語るに足るお話と子どもの目線に沿った作品を求めて、活発に話し合い、勉強に励んでいます。子ども達が楽しいお話や絵本

と出会い、世の中の多様性を知ること、生きていく力の一つになってくれることを願いながら活動しています。

（静岡おはなしの会 代表 大曲 葉子）



静岡おはなしの会 大谷こども園で読み聞かせ

平成29年度 公立図書館等職員専門研修 図書館広報研修報告

6月22日、島田市立島田図書館（おび・りあ4階多目的室）を会場とし、公立図書館等職員専門研修「図書館広報研修」を開催しました。

講師に有限会社アドクック代表取締役で静岡県広報アドバイザーの前田ミネオ氏をお招きし、「手にとりたくなるチラシ、ポスターのデザイン・レイアウト」についてお話しいただきました。

前半の講習では、デザインを印象づける4つの要素や手にとりたくなるチラシ、目にとまるポスターの特徴についてアドバイスをいただきました。チラシやポスターなど全ての制作物において受け手が存在しており、デザイン次第で受け手の心に生ずる感じ方や印象度が変化すること等を学びました。

キャッチフレーズはビジュアルに匹敵する影響力があるため一言加えることで内容が伝わりやすくなること、文字の大きさや行間にメリハリを持たせることで紙面の見え方が変わるなど、チラシ、ポスターを作る上での様々なテクニックを知ることができました。

後半は、3人ずつのグループワークで、こどもが行きたくなる図書館のポスターデザインについ

て考え、ポスター作成と発表を行いました。ブレインストーミング、キャッチフレーズの創出、レイアウトと順を追って作業し、意見を出し合いました。

誰のために何のために何を伝えるかを明確にしなければ誰も振り向いてくれないため、目的を絞り込むことが重要であること、揃える、仕切る、つなげる、グループ化するといったことを意識し情報を整理する必要があることなどを、グループワークを通じて学ぶことができました。

県内各館から参加した受講者は、皆熱心に講師の説明に聞き入り、グループワークに取り組みました。受講者からも「チラシ作りは難しくいつも上手にできず困っていたが、手にとりたくなるアドバイスをたくさん教えていただき良かったです。」と感想をいただくなど大変有意義な研修となりました。



前田ミネオ氏による講義

平成29年度 第25回静岡県図書館大会

日時 11月6日（月） 9:45～15:45

会場 グランシップ（静岡市駿河区池田）

日程 9:20～9:45 受付

9:45～10:40 開会式・表彰式・情報報告

10:50～12:45 対談・諸連絡 「えほんのちから、ことばのちから」

谷川 俊太郎 氏（詩人）

江頭 路子 氏（イラストレーター、絵本作家）

13:45～15:45 分科会 第1分科会 図書館サービス

第4分科会 図書館資料

第2分科会 乳幼児・児童に対するサービス

第5分科会 学校図書館

第3分科会 大人の読書活動

第6分科会 大学図書館

問い合わせ先 静岡県立中央図書館 企画振興課振興班 TEL 054-262-1246

※参加費は無料です ※各分科会への申込は、原則として先着順となります。 申込締切日 10月5日（木）

公立図書館等職員研修のお知らせ

総会の後に日程が決定した研修を御案内します。ぜひ御参加ください。

専 門 研 修	大学・専門図書館研修	9月13日（水）	静岡県立大学附属図書館
	① 会場図書館事例報告 ② 会場図書館見学		
	③ 講義「大学図書館における学修・学習支援サービスの取組」 講師：信州大学附属図書館 森 いづみ 氏		
	図書館情報研修	9月27日（水）	静岡県立中央図書館
	① 講義「日経新聞の読み方と新聞データベースの基本講座」（仮） 講師：日経新聞社		
	② 講義「新聞データベースの活用講座」（仮） 講師：静岡新聞社		
図書館サービス研修	12月13日（水）	沼津市立図書館	
① 講義「調布市立図書館のハンディキャップサービスについて」 講師：調布市立図書館 海老澤 昌子 氏			
② 講義「高齢者施設・特別支援学級・福祉作業所等へのサービス」 講師：元墨田区立図書館職員 山内 薫 氏			